



<テーマ> 違いの中にキリストを告白する群れ
～ 響き合う礼拝とひろば ～

<年間テーマ> 出会いと対話に日々新しくされて

< 聖 句 > マルコによる福音書2章22節

また、だれも、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりはない。そんなことをすれば、ぶどう酒は革袋を破り、ぶどう酒も革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋にいれるものだ。

◀神戸教会は8月4日に宣教開始70周年を迎えました。▶

「花婿イエス・キリストが来られたのだから」

今日の聖書箇所は「断食とは何か」というよりも、私たちが「今この時をどのように受け止めて生きているか」ということを考えさせます。バプテストのヨハネの弟子は「わたしたちやファリサイ派の人々はよく断食するのに、何故あなたの弟子は断食するのですか」と問いかけます。宗教と言えは古今東西「断食」はつきものですから断食しないことに違和感を持っていたのでしょう。イエス・キリストも「断食」を否定してはいません。しかし「今はそのときではない」と言います。何故ならば「今は喜びの時である」からです。

今も昔も結婚式にはパーティーがつきものです。家族・知人・友人と交わり楽しむ時間は何にも代えがたい喜びです。ましてや結婚する当人にとってはパートナーが与えられる喜びはひとしおでしょう。イエス・キリストはあなたの花婿となるためにやって来たのです。つまり「あなたがたは世の光である」と言われたイエス・キリストは、私たちのいのちが神の愛に満たされたものであり、祝福されているものだと言うことを確認させるのです。断食は確かに心と体を整え、神の恵みを再確認するために大切なことですが、それよりも大切なのは、今あなたに与えられたいのちを喜び楽しむことであるのです。そのために、神はあなたのいのちを創造されたのです。来週からアドベントが始まりますが、実はクリスマスはもうすでにあなたに来ているのです。

【西脇慎一】

日本バプテスト連盟 神戸バプテスト教会 牧師 西脇慎一

〒650-0003 神戸市中央区山本通1-7-27 TEL078-231-7187 FAX078-221-5252

ホームページ: kobe-church.com 事務局Eメール: jimukyoku@kobe-church.com

主日礼拝	毎日曜日	午前10:30~11:45
共育のひろば	毎日曜日(第3週除く)	午前11:45~12:40(当面お休みです)
	(幼児クラス・小学生クラス・中高生クラス・成人クラスA・B・C)	
幼稚園C・S	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
ひまわりひろば	毎日曜日	午前9:00~10:20(当面お休みです)
月曜ひろば	第1・3月曜	午前9時半~11時(12月7日)
祈祷会	毎水曜日	午後7:00~8:15
	第2・4水曜	午前10:30~12:00(当面お休みです)

教会についてのお問い合わせ、バプテストの希望や他教会からの転入など、
ご相談のある方は牧師、又は教会事務局までご連絡ください。

◆朝 10 時と夜 8 時に共に祈りの時を持ちましょう。

- 1、新型コロナウイルス感染症が一刻も早く収束に向かいますように。第三波からの守りのために。
- 2、感染した方々の癒しとご家族の守り、治療に当たられている医療従事者を始め、人々の日常生活を支えている多くの方々の守りのために。
- 3、コロナ禍で経済的な不安を持つ個人事業主、非正規雇用の方々の守りのために。
- 4、子どもたちの心の守りと成長の祝福。そしてご家庭の守りのために。
- 5、光の丘幼稚園の園児・保護者・教職員の守りのために。
- 6、困難を抱えたまま信仰を守っているすべてのキリスト教会とそれぞれの信者のために。
- 7、兵庫県下を含め全国各地で感染が拡大しています。心身の調子を崩されている方々がおられます。教会員や礼拝出席者の家族を始め、すべての人々の心と体の健康と生活の守りのために祈りください。

【連盟・連合・他教会の祈り】

- ◆日本バプテスト連盟の今年度の定期総会(2/24)は書面で行うこととなりました。すべての決議の守りのために。また全国 318 に及ぶ教会・伝道所のお働きのために祈りください。
- ◆日本バプテスト連盟と関西地方教会連合の諸教会のために。特に無牧師の宝塚教会、神戸新生教会のために。4 月より新しい牧師を迎えた北山教会(小櫻信牧師)、南千里教会(蓮池昭雄牧師)のために。また、休会中の神戸国際、大阪旭のために。

交読「平和」

…イザヤ書9章・ミカ書4章・マタイ書5章より…

闇の中を歩く民は、大いなる光を見、

死の陰の地に住む者の上に、光が輝いた。

一人のみどり児がわたしたちのために生まれた。

ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。

その名は、「驚くべき指導者、力ある神、永遠の父、平和の君」

と唱えられる。

主は多くの民の争いを裁き、はるか遠くまでも、

強い国々を戒められる。

彼らは剣を打ち直して鋤とし、槍を打ち直して鎌とする。

国は国に向かつて剣を上げず、もはや戦うことを学ばない。

平和を実現する人々は、幸いである、

その人たちは神の子と呼ばれる。